

会 議 概 要

会議の名称	令和5年度第3回社会教育委員会議
開催日時	令和5年12月22日(金) 13時30分 開会 14時30分 閉会
開催場所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	深谷委員長、山本副委員長、梅田委員、平野委員、杉原委員、毛利委員、渡辺委員、鈴木委員、西倉委員、菅原委員、佐上委員 11名 教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、仁木主査、鈴木主事、佐藤主事
欠席者名	工藤委員、三橋委員、高野委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議 事 議案第1号 令和6年度社会教育事業計画(案)について 5. その他 6. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和5年度第3回社会教育委員会議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

1 日 時

令和5年12月22日(金) 13時30分～14時30分

2 会 場

湧別町文化センターさざ波 多目的ホール

3 会議及び用務

令和5年度第3回社会教育委員会議

4 出席者

社会教育委員～深谷委員長、山本副委員長、梅田、平野、杉原、毛利、
渡辺鈴木、西倉、菅原、佐上 各委員 11名

欠席～工藤、三橋、高野 各委員 3名

教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、鈴木主事
佐藤主事

5 結果要旨

1. 開 会
2. 深谷委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事（深谷委員長による進行）

○報告第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）

別紙議案について各担当より説明

- ・藤本主幹：社会教育、スポーツ、芸術・文化について
- ・中島館長：図書館、博物館について

【以下質疑】

梅田）遠軽町で新しく親子で遊べる広場ができた。（キッズメトロ）湧

別でもおもちゃ図書館として親子で遊べたり、保護者同士で交流できる場があったらいいと改めて思った。それと同時に、これは自分の考えで、実際にそういった場が町民に求められているかわからない。また、そういった方々が集まり、中心となって実施していくのがいいと思うが、そういった人材がいるかもわからない。もう少し協議できる機会が欲しいと感じている。

(平野) <子ども会関係>

情報共有として、今年10月末に青少年指導センター所長として、子ども会全国大会に参加した。議案8ページに記載のあるとおり、社会教育に係る関連事業として、青少年指導センター事業も含まれている。子ども会事業に社会教育として教育委員会が関わっていることや、実施事業の豊富さは、全国を見ても、湧別町や紋別市くらいであった。

<図書館関係>

図書館への本の寄贈の方法について教えていただきたい。

(中島) 本の寄贈は随時受け付けしているが、内容等により寄贈者と相談の上、寄贈または古本として扱わせていただく。漫画などは受け付けていないが、個人で発行したものや、地域で限定的に発行されたものなどは、町の歴史的資料としてもありがたい。

○その他 1) 社会教育委員各種研修会等の予定について

・資料11ページ記載の各研修会について藤本より説明。

2) 社会教育事業及び関係団体等予定表について

- ・資料13ページ記載の計画表について藤本より説明。

3) 部活動地域移行について情報提供・共有 (坂本)

- ・11月30日(木)に第1回部活動地域移行検討委員会議を開催。社会教育委員からは工藤委員が検討委員として参加している。委員長、副委員長の選任が行われ、委員長に体育協会会長の黒川隆さん。副委員長として工藤委員が選任された。

- ・第2回検討委員会を1月～2月に予定しており、北海道教育委員会が委嘱するアドバイザーを講師として、講演会を1時間程度実施予定。参加は検討委員だけでなく、社会教育委員や関係団体にも案内をする予定であり、都合が合えば社会教育委員の皆さんにも参加いただきたい。

4) 指定管理の関係について (坂本)

- ・現在、さざ波やTOMの他17施設の管理をシダックス大新東ヒューマンサービスにて行っているが今年度で終了となる。来年度以降の指定管理業者を公募した結果、シダックス大新東ヒューマンサービスの1社のみであり、12月定例町議会で議決を得たことから令和6年度以降(5年間)についても上記業者にて対応することとなった。

5) パブリックコメントについて

(平野) 中期計画策定の際にパブリックコメントを募集している。

実際に意見・要望はなかったが、パブリックコメントで意見・要望が出た際の流れ、対応について教えていただきたい。

(坂本) 意見等の内容にもよるが、例えば中期計画策定の際にパブリックコメントによる意見・要望があった場合は、まず、課内で協議を行い、計画に変更が必要だと認められる場合は、社会教育委員を集い協議を行う。また、意見・要望があった場合は、意見に対して個別の回答は行われず、類似意見を集約して回答を公表することとなっている。最終的には、教育委員会議の議決をもって策定となるので、その前段の素案の段階でパブリックコメントをすることとなっている。

5. 閉 会 終 了 14時30分

令和5年度
第3回社会教育委員会議案

と き 令和5年12月22日(金)
午後1時30分

と ころ 文化センターさざ波 多目的ホール

<会議日程>

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 教育長あいさつ

4. 議 事

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画(案)について P1～10

その他 社会教育委員各種研修会等の予定について P11～12
社会教育事業及び関係団体等予定表 P13

5. 委員長あいさつ ・ 閉会

湧別町教育委員会

社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	深谷 聡	計呂地		
副委員長	山本 重幸	錦町		
委員	梅田 唯士	上湧別屯田市街地		
委員	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
委員	西倉 めぐみ	栄町		
委員	菅原 恵介	中湧別東町		
委員	杉原 武純	旭		
委員	毛利 美紀子	中湧別北町		
委員	渡辺 香織	中湧別南町		
委員	鈴木 由美子	栄町		
委員	工藤 雄希峰	登栄床		
委員	三橋 裕介	中湧別南町		
委員	高野 龍彦	中湧別南町		
委員	佐上 義朗	屯田市街地		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	坂本 雄仁
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
社会教育課主幹	藤本 祐司
社会教育G主査	仁木 宏紀
社会教育G主事	鈴木 健太
社会教育G主事	佐藤 凌也
ふるさと館JRY・郷土館主査	林 勇介
図書館主査(湧別図書館)	北村 公樹
図書館主事(中湧別図書館)	石垣 杏優

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目	
基 盤 整 備	①生涯学習情報の 収集・提供・相談 体制の充実	年間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行（毎月） ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行 （2カ月に1回）（佐呂間町が当番町） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。 ○Instagramによる事業周知	「湧く湧く」 印刷製本費 1,584千円	10-1 10-3	
	②指導者の発掘・ 養成・活用	年間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	10-4	
	③団体活動の支 援・育成	年間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—		
	④生涯学習振興奨 励事業	年間	—	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%）	3件 300千円		
	⑤施設の整備・運 営・連携	年間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画 のとおり	10-2 10-5	
家 庭 教 育	①家庭教育研修会	12月	文化センター TOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓発するための研修会。講演後に参加者交流会を開催。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会に後援、家庭教育サポート企業に協賛依頼予定。開催場所や開催日時、方法について再検討する。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	1-1	
	②健康こども課と の事業協力	年間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実を図る。	—	1-3 1-4	
	③家庭教育相談	年間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供する。	—	1-2	
少 年 教 育	①児童宿泊研修会	6/13(木)～ 14(金)	ネイバル 北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費122千円 （4,000円×1/2 ×61人） 需用費15千円 バス借上料143千円	2-1 2-4	
	②子ども会の育 成・援助	年間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 170千円	2-2	
	③第1回子ども会 リーダー研修会	7月下旬～8 月上旬	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導セン ター会計から支出	2-1 2-2 2-3	
	④第2回子ども会 リーダー研修会	3/8(土)～ 9(日)	紋別市生涯学 習センター				
	育	⑤百人一首教室	11月～1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。小1～大人まで対象。	報償費24千円 需用費57千円	2-1 2-3
		⑥第53回新春交 歓カルタ大会	R7.1/19 (日)				

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
少年教育	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年間 (月1回程度)	町内ほか	小学校4～6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円 手数料1千円	2-1 2-2 2-4
	⑧湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8月上旬	湧別町 (受入れ)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5～6年およびリーダーとして中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費100千円 需用費150千円	
青年教育	①青年団体の育成・援助	年間	青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円	3-1 3-2 3-3 3-4
	②令和7年20歳の集い	R7.1/12(日)	文化センター さざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費530千円 需用費71千円	
成人教育	①第48回湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化センター TOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。合併15周年に向けた講師を選定予定	補助金 2,500千円	4-1 4-2 4-3 4-4
	②第14回ふるさと講座	未定	未定	町の人を講師に、地域の価値を学び共感する機会提供のための座学講座。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う。	講師謝礼30千円	
	③第12回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅	未定	未定	普段見落としがちな町の価値（＝お宝）を、それに詳しい講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有する。	講師謝礼30千円 バス借上料77千円	
	④PTA団体への援助	年間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	
	⑤ボランティア団体との連携	年間	文化センター さざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	
高齢者教育	①チューリップ生きがい大学の開設	年間 (月1回程度)	文化センター TOM・さざ波 ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費247千円 需用費36千円 印刷製本費83千円 借上料528千円	5-1 5-2 5-3 5-4
	②世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	
	③アクティブシニア向け事業	年間	文化センター さざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。チューリップ生きがい大学クラブの方々にも講師として携わっていただき、生きがい大学の繋がりを強化を図る。	報償費480千円	
社会教育委員	①社会教育委員研修	随時	道内管内	研修を通じて委員としての資質向上を図り、地域における社会教育活動の充実に資する。 北海道市町村社会教育委員長等研修会 札幌市 北海道社会教育研究大会（オホーツク大会）網走市 生涯学習実践活動交流セミナー 札幌市	社会教育委員 報酬109千円 費用弁償169千円	10-5

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
芸術 ・ 文化 活動 の 振 興	①文化団体の育成 援助	年間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	6-2 6-4
	②鑑賞機会提供団 体の育成援助	年間	文化センター TOM・さざ波	良いもの見よう聞こう会等の活動支援	補助金 10,000千円	6-1 6-2 6-4
	③幼児芸術鑑賞会	7月予定	文化センター さざ波	幼児対象 公演内容 小さな子のためのオペラと朗読会	公演料 500千円	6-1
	④児童芸術鑑賞会	9月予定	文化センター さざ波	小学生全学年対象 公演内容 劇団ボプラミュージカル「オズの魔法使い」	公演料 880千円	
	⑤中学生芸術鑑賞 会	6/6(木)	文化センター TOM	中学生全学年対象 公演内容 神保彰ワンマンライブ	公演料 1,500千円	
	⑥一般芸術鑑賞会	10/5(土)	文化センター さざ波	町民対象(1公演) 公演内容 三井住友海上文化財団 「地域住民のためのコンサート」 「トルヴェール・カルテットwith小柳美奈子」	公演料 0千円	6-1
	⑦子どもアート体 験事業	未定	未定	国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向 き、子ども達と一緒にワークショップや創作活動を行い交 流する事業。	—	
	⑧文化芸術作品展 示会等の奨励	年間	文化センター TOM・さざ波	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真 などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	6-2 6-3 6-4
	⑨カルチャー教室	年間	町内施設	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民の ニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 135千円	6-1
大 会 の 開 催 等	①第39回サロマ 湖100kmウルトラ マラソン	6/30(日)	湧別総合 体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上)	負担金3,000千円	
	②湧別町少年柔道 大会「上野カップ 2024」	10/12(土)~ 13(日)	湧別総合 体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリ ストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道 大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の 活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致 する予定。	歳入総額 3,037千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,337千円 歳出総額 3,637千円	
	③第49回町民 300歳バレーボ ール大会	12/1(日)	中湧別総合 体育館・湧別 総合体育館	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品35千円 食糧費33千円	
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	①スポーツ王国北 海道「スポーツ チャレンジ教室」 「コーチ・ペアレ ンツ講習会」	7月~12月予 定	未定	世界第一線で活躍するアスリート等によるスポーツ体験教 室を開催し、子どもたちに対しスポーツの楽しさや魅力を 伝え、スポーツに対する興味関心や積極的な参加の機運を 高めるとともに、指導者や保護者にスポーツの大切さを理 解してもらい、子どもがスポーツに親しむ習慣が促進され ることを目的とする。(北海道との共催事業) 講師：未定 対象：教室 小・中学生 講習会 指導者・保護者	スポーツ推進委員 報酬32千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②ジュニアスイミ ングスクール	7月	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味 合わせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：藤田 千秋(トッカリ湧波会) 小橋 百合香(スポーツ推進委員) 対象：小学生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
	③ニュースポーツ deあそび	R7.1月~3月 予定	湧別総合 体育館	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくり を高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の 活性化を図る。 指導者：スポーツ推進委員 対 象：町内に在住の方 内 容：ニュースポーツ	スポーツ推進委員 報酬32千円	

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	④ジュニアスケート教室	R7. 1月予定	芭露スケートリンク	町内の小学生に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保拓也（芭露） 松本桃子（芭露 スポーツ推進委員） 藤本祐司（教委職員） 対象：小学生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	⑤クロスカントリースキー教室	R7.1/26(日)	五鹿山スキー場	初級者を対象に、クロスカントリースキーの楽しさを味わわせるとともに、正しい走行方法を習得させる。 指導者：鈴木 義広（中湧別北町） 石川 克己（錦町 スポーツ推進委員） 対 象：小学生～一般町民	講師謝礼 3千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
	⑥運動・トレーニング指導	5月～3月	湧別総合体育館ほか	エクササイズとトレーニング機器を使ったトレーニングを行い、町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。 ①エクササイズ ②トレーニング機器を使った指導など 講師：月2回は委託業者 月1回は教委職員 対象：一般町民	委託料924千円	
	【新規】 ⑦湧別町・レバンカ北海道スポーツ推進事業	5月～7月	湧別総合体育館ほか	プロによるスポーツ教室を開催し、本町の子どもたちに対しスポーツの楽しさや魅力を伝え、スポーツに対する興味関心を深める。また、本町とレバンカ北海道が包括連携協定を締結したことから、レバンカ北海道のサポートを受け、町の地域活性化にも繋げる。 予定事業 ①バスケットボール教室 ②町民トークショーなど ※湧別町合併15周年記念事業として実施	委託料880千円	
ス ポ ー ツ 推 進 委 員 事 業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館ほか	町内の小学1年生から3年生を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。 ※事業内容は変更になる場合有 5月 入学式・かけっこ教室（上湧別百年記念公園広場） 6月 器械体操（中湧別総合体育館） 7月 キャンプ（湧別総合体育館裏） 9月 五鹿山マラソン（五鹿山スキー場） 10月 ドッジボール 初級編（中湧別総合体育館） 11月 ドッジボール 中級編（中湧別総合体育館） 12月 ミニサッカー（中湧別総合体育館） 1月 スケート体験・氷上ホッケー（芭露スケートリンク） 2月 HIIT THE BEAT（中湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（中湧別総合体育館） 指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対 象：小学1年生～3年生	講師謝礼 器械体操 20千円 かけっこ教室 15千円 HIIT THE BEAT 15千円 スポーツ推進委員 報酬268千円	9-1 9-2 9-3
	②巡回スポーツ指導	随 時	町 内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、ニュースポーツの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	③スポーツ推進委員研修	随 時	管 道 内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 興部町 オホーツク管内社会体育振興セミナー 興部町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 増毛町	スポーツ推進委員 報酬122千円 費用弁償97千円	9-2
団 体 活 動 の 育 成 援 助 等	①少年スポーツ団体の育成援助	年 間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	②一般スポーツ団体の育成援助	年 間	-	体育協会への補助	補助金709千円	9-2 9-4
	③大会出場助成	年 間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 （湧別町スポーツ・文化遠征費補助金）	補助金2,000千円	9-2
	④合宿誘致助成	年 間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 （湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金）	補助金1,746千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	9-1

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
施設の整備活用	①施設の整備	年 間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	②施設の活用	年 間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 120千円	
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随 時	-	広報周知等 インターネット（スポあんネット）にて加入する。	手数料1千円	9-1
図書館	①図書館資料の収集、整理、保存	年 間	両 館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存	資料費 (図書、新聞・雑誌) 8,000千円	7-1
	②利用促進、読書 機会の提供	年 間	両 館	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		7-2
				インターネットによる情報発信を行う。 ・デジタル資料の公開 ・事業のお知らせ ・司書によるおすすめ本の紹介（新着図書案内） ・図書館だより ・小学生向け広報の発行（年4回）		
				宅配貸出サービス（月2回） ・来館が困難な町民に対して個別に配送貸出を実施		
	③ブックスタート	年 間	健診会場	ブックスタート（月1回） ・絵本2冊と手作りバックの提供 ・4ヶ月児対象 ・健診時に絵本とバックをメッセージと共に提供 ブックスタートプラス（年2回） ・絵本とブックガイドの提供 ・5～6歳児対象 ・就学時健診時に絵本1冊とブックガイドを提供 協力（バック制作） ・ルピナスの会（バック本体） ・湧別高校ボランティア部（名札）	資料費（絵本） 142千円	
	④絵本くらぶ	年 間	両 館	絵本の宅配（月1回） 3歳までの乳幼児がいる家庭におすすめ本セットを宅配（登録制）		
⑤移動図書館車の運行	年 間	両 館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。 機動性を活かし遠隔地域を中心に、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 児童、職員が乗り込んで借りる以外に、一部ステーションでは図書館職員が選本したセットを配本。 ＜ステーション＞ ・認定こども園、保育所 3か所（年8回） ・児童センター 5か所（年8回又は年4回） ・子育て支援センター 1か所（年4回） ・学校 8か所（年8回） ・福祉施設 8か所（年4回） ・地区施設 3か所（年4回） ・郵便局 5か所（年4回）		7-3	
⑥学校図書館支援	年 間	町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすめ絵本リスト作成配布 ・読書通帳の提供			

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
図 書 館 活 動	⑦古本コーナー	年 間	両 館	古本、古雑誌のリサイクル活動		7-2 7-3
	⑧特別展示	9月～10月	両 館	町民大学講師著作展示		
		年 間	両 館	テーマ：年中行事		
		4月～5月	両 館	子ども読書週間特別展示		
		10月～11月	両 館	秋の読書週間特別展示		
		9月～10月	中湧別 図書館	絵本原画展「あてっこ どうぶつずかんだれ」（あべ弘士/ 作・絵）		
	年 間	両 館	協力展示（展示スペースの貸出）	—		
	⑨連携・ネット ワーク	年 間	両 館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援（りんごっこ、リーディング倶楽部 たんぼぼ、湧別高校ボランティア部） ・ゆうべつ学園読み聞かせ（リーディング倶楽部たんぼ ぼ） ・中湧別図書館読み聞かせ（りんごっこ、湧別高校ボラン ティア部）		7-3
		年 間	児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施		
		会議3回 研修1回	湧別図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修（管内公共図書館視察）		
		7月～9月	両 館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援 しよう」キャンペーン参加		
⑩単年度イベント	未 定	湧別図書館	絵本ライブ ・絵本＋音楽＋αの新しい読み聞かせスタイル。子どもか ら大人まで楽しめる。	報償費30千円		
文 化 財 保 護 活 動	①文化財の保護 (1) 埋蔵文化財	年 間	町内各所	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ○シブノツナイ竪穴住居跡の調査 ・発掘調査：竪穴住居跡の年代、遺跡範囲等確認 * 7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催	委託料 (年代測定等) 610千円 印刷製本費 258千円	8-1
	②文化財の保護 (2) 自然関連	年 間	町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） ・オジロフシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整		
博 物 館 活 動	①博物館資料(1) 収集	年 間	郷土館・ ふるさと館 JRY	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請		8-2
	②博物館資料(2) 整理・保管	年 間	郷土館・ ふるさと館 JRY ・収蔵庫	○考古資料 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ・試掘調査等出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫管理 ・文書資料の整理 ・資料外保管物の処分 ・資料移動（旧芭小体育館等） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務		

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
博 物 館 活 動	③博物館資料(3) 展示	年 間	郷土館・ ふるさと館 JRY	<ul style="list-style-type: none"> ○郷土館 ・企画展：発掘調査速報展（仮） ○ふるさと館JRY ・常設展示更新：解説パネルの追加と更新 ・収蔵展示室整備 		8-2
	④調査研究	年 間	—	<p>【博物館資料（開拓期）の調査・関連事項の研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開拓期の衣食住 ・兵制度 ・冬季の生活 <p>【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道史跡の守るべき範囲・価値の明確化 ・シブノツナイと他の竪穴群との比較研究 ・古環境復元、食性解明の自然科学分析 <ul style="list-style-type: none"> ○教材研究 ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 <ul style="list-style-type: none"> ○その他（大学等研究者との共同研究） ・北海道大学考古学研究室の発掘調査支援（3年間程度） <p>対象遺跡：川西オホーツク遺跡 令和6年度は測量調査</p>		
	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修 会・講座	年 間	郷土館・ ふるさと館 JRY	<p>【学校授業・研修会・講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開拓の歴史 （道具の変遷や機能の紹介） ・労働体験（鋸・斧・鉋） ・開拓期の衣体験 ・屯田生活体験館の活用 <ul style="list-style-type: none"> ○先史文化 （文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供） ・先史文化の工夫を学ぶモノづくり学習 （土器・勾玉） ・遺跡に親しむフィールドワーク 発掘調査の現地説明会（主に学校を対象） ・遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会（11月予定） *調査成果に応じて実施を判断する 	講師謝礼 70千円	8-3
	⑥博物館教育(2) 広報・情報提供	年 間	—	<p>【広報・情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP） ○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス） 		

中期計画推進項目の欄は、第3次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
連携ネットワーク	2-4	
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学 習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

令和6年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
青少年指導センター インター	子ども会フットベースボール大会	6月下旬～7月上旬	上湧別百年記念公園	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	
	子ども会リレー駅伝大会	10月6日（日）予定	上湧別百年記念公園		
	子ども会ミニバレーボール大会	11月10日（日）	中湧別総合体育館		
	子ども会リーダー研修会	（夏）7月下旬～8月上旬 （冬）3月8日（土）～9日（日）	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	
	中高生リーダーの養成	年間	町内	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年だより発行 ④優良青少年表彰	補助金 400千円
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10/27(日)	文化センター さざ波(芸能)	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	
		展示の部 10/19(土) 20(日)	文化センター TOM(展示)		
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	7/19(金) 19:00～	文化センター さざ波	海援隊トーク&ライブ～君の住む町へ～	
		未定	文化センター さざ波	立川志らく独演会	
		11月	文化センター さざ波	三浦祐太郎アコースティックライブ	

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

令和6年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2024	9/8(日)	五鹿山スキー場 ※場所は変更になる場合有	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	教委、スポーツ推進委員も運営協力
スケート協会	第55回湧別町スケート大会	2/1(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児の部、小学生の部、中学生の部、一般の部、アトラクション（人間ダイビング他）	
実行	ゆうべつチャレンジデー	未定	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「ゆうべつチャレンジデー」を実施し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	
	駒澤大学合気道合宿	7月～8月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定	
委員	【新規】北海道大学女子ラクロス部	7月～8月	上湧別百年記念公園	本町と北海道大学にて連携協定を結んでおり、北海道大学女子ラクロス部は令和5年の北海道ラクロスリーグにて優勝している。また、ラクロスは2028年のロサンゼルスオリンピックにて正式種目となっていることから、ラクロスの普及を図るとともに、町民との交流も図る。 合宿予定人員：20名予定	
	三井住友女子柔道部合宿	9/20(金)～22日(日)	湧別総合体育館	湧別町出身の上野雅恵監督が指導する三井住友女子柔道部が合宿を実施することにより、柔道の普及促進を行う。また、公開練習も行い、町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定	
員	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：40名予定	
会	湧別原野林ツクリスカウトスキー大会	R7.2/23(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	

議案第1号 令和6年度社会教育事業計画（案）について

令和6年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
文化センターTOM	排煙窓修繕	1,700	
	外壁劣化調査委託	4,350	
	空調機改修工事	94,000	
文化センターさざ波	中央監視盤M I Tアドバンス本体更新修繕	1,020	
	気中開閉器取替修繕	820	
	照明LED化工事	12,518	
	舞台吊物装置改修工事（全7期中3期目）	41,000	
湧別総合体育館 中湧別総合体育館	バレーボール支柱購入	610	
五鹿山スキー場	圧雪車走行油圧ポンプ取替修繕	2,190	
	リフト折返滑車軸及びゴムライナー交換工事	7,320	
湧別図書館	高圧設備改修工事修繕	820	
ふるさと館JRY	温水暖房給水装置の修繕	561	
	エレベーター修繕	560	